

報道関係各位



2026年1月7日

認定NPO法人虹色ダイバーシティ

「EXPO2025 大阪・関西万博」で得られた人権分野の実践知を 共有するオンラインイベントを開催 ～包括的な国際イベントの実現に必要な視点とは～

<2026年1月23日（金）19:00～20:00>



認定NPO法人虹色ダイバーシティ（所在地：大阪市北区、理事長：村木真紀）は、

2026年1月23日（金）19:00～20:00、大阪・関西万博における人権配慮の実践を検証し、その経験や知見を今後の国際イベントに活かすことを目的としたオンラインイベントを開催します。

本イベントでは、行政や企業とは異なる立場で大阪・関西万博に関与してきた民間非営利団体が、制度設計や意思決定の過程、体制・人材、現場運用、可視化策といった観点から、**実際に機能した点と課題を整理・共有**します。

国際イベントにおいて「人権」「DEI」「インクルージョン」が不可欠であることは広く認識されつつありますが、特にLGBTQ+への配慮については、日本では現場ごとの工夫や対応に委ねられている部分が多く、**その知見を次に引き継ぐ仕組みづくりは、これからの課題だと認識**しています。

本イベントは、大阪・関西万博での取り組みを一度きりのものにせず、**次の国際イベントでも参照・活用できる形で整理し、共有すること**を目的としています。

■イベント概要

◎タイトル：

万博の人権実践を次に繋ぐ～EXPO2025 大阪・関西万博における国際イベントの実践知～

◎日時

2026年1月23日（金）19:00～20:00

◎形式

YouTube ライブ配信

◎参加申込フォーム

<https://forms.gle/Y42H65KyqsPa56hE6>



※上記フォームよりお申込いただきましたら、配信 URL をメールにてお送りします。

◎目的

- ・万博における人権実践を、次に活かせる「知見」として整理する
- ・民間非営利団体の関与の意味を明確にする
- ・今後の国際イベントに向けた実装のヒントを提示する

◎登壇者〈敬称略〉

永井 美佳（社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長）

村木 真紀（認定NPO法人虹色ダイバーシティ 理事長）

有田 伸也（認定NPO法人虹色ダイバーシティ 理事）

長野 友彦（認定NPO法人虹色ダイバーシティ プライドセンター大阪マネージャー）

◎プログラム内容

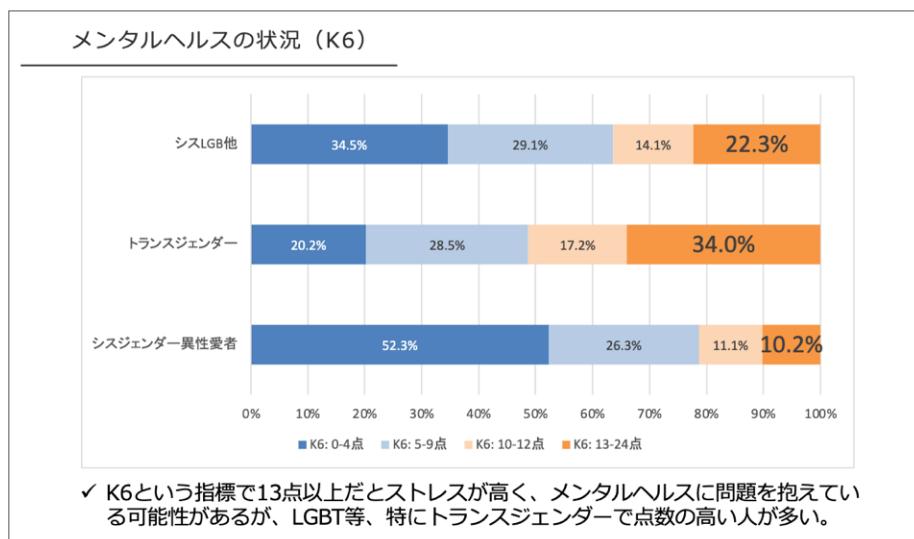
- ・実践内容の共有（制度設計、体制づくり、人材、現場運用、可視化策など）
- ・クロストーク「民間非営利団体だからこそ実現できたこと」
- ・知見の抽出
 - 1) 外部団体はいつ・どの立場で入ると機能するか
 - 2) 研修は誰に・どこまでやれば意味があるか、等
- ・まとめ

■ 開催の背景

日本でも多くの企業が DEI 推進や多様性尊重の必要性を認識していますが、組織の中で測定可能なデータ基盤や評価体制が十分に整備されておらず、**現場での実装・改善に向けた実践知が体系化・共有されているとは言い難い状況**にあります。

こうした中で、国際イベントにおいても、人権配慮や DEI（多様性・公平性・包摂性）は重要性を増しています。民間非営利団体が果たした役割や、その関与がなぜ必要だったのかを言語化し、次の国際イベントへつなげることが求められています。

■ 日本の LGBTQ+ コミュニティを取り巻く現実



日本では、LGBTQ+を取り巻く環境は制度整備などを通じて一定の改善を見せつつあります。しかし、虹色ダイバーシティが学術研究者と共同で継続的に実施している LGBTQ+ の仕事と暮らしに関するアンケート調査「niji VOICE 2024」からは、職場や日常生活において、**当事者が抱える「しんどさ」**が依然として解消されていない実態が明らかになっています。

こうした課題認識のもと、虹色ダイバーシティは大阪・関西万博において、万博協会と継続的に対話を重ねながら、要望書の提出や人権ワーキンググループの委員としての参加を通じて検討プロセスに関与してきました。あわせて、職員・パビリオン関係者を対象とした LGBTQ+ に関する研修の実施、現地でのモニタリング、会場内での関連イベントの企画および登壇など、**現場に即した人権配慮の実装に向けた取り組みを進めてきました。**

これらの取り組みは、制度や方針を整備することにとどまらず、実際の運営の中で人権配慮をどのように機能させるかを共に検証し、改善していくプロセスでもあり、多くの実践的な知見が蓄積されています。

国際イベントにおける人権対応は、その社会の現在地を映す鏡です。本イベントは、万博協会との協働を通じて得られたこうした実践知を一過性のものとせず、**次の国際イベントへと引き継いでいくことを**目的に開催します。

本イベントを通じて、日本における LGBTQ+ コミュニティ支援の必要性とともに、行政・企業・非営利団体がそれぞれの立場を生かしながら協働することの意義を、国内外に向けて発信します。

■ 今後に向けて

本イベントは、日本における LGBTQ+ コミュニティ支援の必要性や、調査研究で明らかになっている課題の継続性を社会に広く伝える機会とします。

イベント内容はアーカイブ化し、行政担当者や今後の国際イベント関係者が、**必要なときに参考できる形で共有**します。大阪・関西万博を一過性の成功体験で終わらせるのではなく、**次の国際イベントにつなげていくことをめざ**します。

<本件に関する問い合わせ先>

認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ 広報担当：井上

E-mail : staff@nijiirodiversity.jp

TEL : 06-7507-2778

虹色ダイバーシティホームページ : <https://nijiirodiversity.jp/>

◎虹色ダイバーシティについて

虹色ダイバーシティは、性のあり方による格差のない社会づくりをめざして、調査研究・社会教育・LGBTQ+センター運営を行っている認定NPO法人です。調査研究・社会教育・LGBTQ+センター運営を通じて、職場・学校・地域など、日常生活における LGBTQ+当事者や周囲の人々の生きづらさを解消し、SOGIによる格差のない社会の実現をめざして活動しています。

◎社会福祉法人大阪ボランティア協会について

大阪ボランティア協会は、1965年に誕生した民間の市民活動総合サポートセンターです。より公正で多様性を認め合う市民主体の社会をつくるために、ボランティア活動や市民活動を通じて、市民が主体となった社会づくりをめざしています。「ボランタリズム」の精神を大切にしながら、ボランティア・NPO・企業市民活動のコーディネーション、市民学習、災害支援、市民シンクタンクなど多彩な事業を、多様な主体と協働して取組みます。大阪ボランティア協会ホームページ：<https://osakavol.org/>

◎LGBTQ+とは

レズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)、クィア(Queer、非典型的な性のあり方すべてを指す)あるいはクエスチョニング(Questioning、特定のあり方に決まらない、というあり方)の頭文字で、性的マイノリティの総称として使われている言葉です。

◎SOGI（ソジ）とは

Sexual Orientation(好きになる相手の性別、性的指向)、Gender Identity(性別に関するアイデンティティ、性自認)の頭文字で、マイノリティ(少数者)かマジョリティ(多数者)を問わず、すべての人に関わりがあります。

※このリリースは虹色PRパートナーが配信しています。

◎虹色PRパートナーについて

虹色PRパートナーは、認定NPO法人虹色ダイバーシティと株式会社プラップジャパンによる共同プロジェクトです。LGBTQ+等の性的マイノリティとその家族、アライの尊厳と権利を守り、誰ひとり残さない社会の実現のために、調査研究・講演・研修・コンサルティング・LGBTQ+センター運営などを行う虹色ダイバーシティと、広報・PRの支援・コンサルティング事業を通して社会・文化の発展に寄与するプラップジャパンの強みを生かし、様々な企業や団体の、LGBTQ+等の性的マイノリティに関する活動を支援しています。